

2009 年 11 月 20 日

行政刷新会議の事業仕分け結果についての意見書

事業番号 3-17 次世代スパコン
事業番号 3-18-(1) Spring8
事業番号 3-19-(1) 深海ドリリング
事業番号 3-19-(2) 地球内部ダイナミクス

一般社団法人日本地球惑星科学連合 会長 木村 学

- 加盟学協会 -

日本宇宙生物科学会	日本第四紀学会
日本応用地質学会	日本地学教育学会
日本温泉科学会	地学団体研究会
日本海洋学会	日本地下水学会
特定非営利活動法人日本火山学会	日本地球化学会
形の科学会	地球電磁気・地球惑星圏学会
日本活断層学会	日本地形学連合
社団法人日本気象学会	日本地質学会
日本鉱物科学会	日本地熱学会
日本国際地図学会	地理科学学会
日本古生物学会	社団法人日本地理学会
日本沙漠学会	日本地理教育学会
資源地質学会	地理教育研究会
社団法人日本地震学会	一般社団法人地理情報システム学会
日本情報地質学会	社団法人東京地学協会
日本水文科学会	東北地理学会
水文・水資源学会	土壌物理学会
生態工学会	日本粘土学会
生命の起原および進化学会	日本農業気象学会
石油技術協会	社団法人物理探査学会
社団法人日本雪氷学会	日本陸水学会
日本測地学会	陸水物理研究会
大気化学研究会	社団法人日本リモートセンシング学会
日本堆積学会	日本惑星科学会

私たち一般社団法人日本地球惑星科学連合は、日本の地球科学、惑星科学、地球環境科学などに関連する48学協会が加盟する学術団体です。私たちが深く関連する科学技術研究開発事業（次世代スパコン、Spring8、深海ドリリング、地球内部ダイナミクス）の仕分結果を拝見して、以下のような観点から国家存亡に関わる重大な危惧を抱くにいたりしましたので、見直していただきますよう、強く意見表明させていただきます。

透明性を確保し、意思決定過程をつまびらかにしつつ、予算編成を進めるという手法は多とするところであり、正しい判断がなされるならば極めて有効なものとして機能すると期待するところでもあります。しかし、拙速にことを進めると、判断を誤り、資源のないこの国の根幹を支える科学と技術の将来に甚大な被害を及ぼし、再生不能の危機に陥ることとなります。

1) 基礎研究の先端を担う大型研究開発プロジェクト事業の見直しは、財政面も含めて、国際的な専門家による評価を基に慎重に進められるべきものであり、根拠不明な縮減や廃止は、科学・技術発展の崩壊を導くこととなります。一時停止という措置ですら、慎重でなければ、長い時間の継続的蓄積によって成功に導かれるこれらのプロジェクトが、大幅な遅れあるいは崩壊につながります。見直しを求めます。

2) 事業仕分けでは、大型研究開発プロジェクトが実践的若手研究者育成という重要な機能を果たしている点を見落としているように思います。今回の事業見直しがそのまま実行されれば、プロジェクトの中核となって働いている若手任期付研究員（博士号を持つ若手研究者）が大幅に削減されるでしょう。私たちの分野では、数百名に及ぶ博士が失職する危機が起こります。鳩山首相は、最近のNature誌で、研究者の育成は我が国の中心政策の一部である（Cultivating researchers needs to be part of our central policies）と述べています。今回の事業見直しは、「科学技術創造立国」という我が国の基本理念とそれを実現するための研究者育成政策に反するものであり、見直しを強く求めます。

[連絡先]

一般社団法人日本地球惑星科学連合 事務局 谷上美穂子

〒113-0032 東京都文京区弥生2-4-16 学会センタービル4階

Tel: 03-6914-2080 Fax: 03-6914-2088 Email: office@jpgu.org